

シンドパルチョツク郡メランチ市マジ村及びジュウガル村及びバグマラ村 地滑りによる災害について

ロックダウンされている中、ジョシ君(4泊5日)が徒歩にて、災害地の調査救援のために、マジ村に入り周辺の状況の詳細を伝えてきました。特に、大阪のロータリークラブ支援のパイプライン「命の水」の状態が、被害を受けず安堵しました。

(第8回(2019年度)ワークキャンプ開催地においても被害が出ています。)

1. 発生時期：2020年6月25日～6月29日
2. 最終支援物資運搬：2020年11月6日～11月8日
3. 過去：ネパール大地震の中心震源地近郊(余震と思われる地域)
4. 災害地：マジ村・バグマラ村・ジュウガル村及びその他近郊
5. 災害内容：発生時確認：30人以上が死亡及び行方不明者多数を確認
：その後：男：5人、女：7人、子ども7人死亡確認
：その後：男：11人、女29人、子ども15人死亡確認
：その後：65家族が影響を受け、周辺家屋37戸が倒壊。
：その後継続中、約20人の生存を調査確認中。
6. 荼毘・火葬：死者を弔いました(生存者とNGO関係者と共に)
7. 家屋の倒壊：37戸。半壊22戸、一部倒壊49戸(仮設住宅は、赤十字で)
8. 救助支援：チームリーダー及び団体
 - * 地区赤十字
 - Mr.Rajenndora Palcabhel (リーダー)
 - 近郊のネパールの人々
 - * NGO Basudev Prasad Joshi Memorial Foundation
 - Mr.Laxma Joshi & John
 - * NGO PIN NEPAL
 - Dr.Anita Manandhar & Dr.Prakashi
 - * NPO PIN JAPAN
 - 事務局長：森本 泰司
9. 援助物資：食品、米、ダル、レンズ豆、砂糖、塩、油、ビスケット、インスタントラーメン、石鹸、タオル、バケツ、ブランケット、衣類、アンダーパンツ、医薬品、包帯、ブルーシート、簡易ベッド、マスク、死者用布、火葬用薪、等々
10. 受益者数：3村を含め、約1,800名
11. コロナ感染者：PCR未検査(体調に変化のことが確認できました)

【参考】

- ①ネパール大地震の後、マジ村中心に「生活用水」の確保が困難になり
ネパール赤十字より緊急支援要請がありました。
- ②PIN JAPAN (NPO) を通じて、PIN Nepal (NGO) と
Basudev Prasad Joshi Memorial Foundation (NGO) 経由にて
大阪・八尾ロータリークラブのプロジェクトとして取り組むことになりました。
- ③2019年4月17日～24日：**プロジェクト地を訪問**
大阪・八尾ロータリークラブ笠井会長及び児林氏が訪問しました。
- ④2019年9月14日～18日：**プロジェクト完成確認訪問**
大阪・八尾ロータリークラブ笠井会長以下、児林氏、濱岡氏が訪問しました。
* 飲料水・生活水の確保が可能になり「水汲み場」タップの7か所
も完成し、近郊の人々にも「命の水」が手元に届きました。
* 近郊の人々も自由に使用可能になりました（受益可能者数：約2,000人）
- ⑤シンドパルチョツク郡 マジ村&ジュウガル村&バクマラ村及び近郊の人々には、
安全・安心な「生活用水」「飲料水」が使用可能になり、PIN JAPAN の指導する
「手洗いの励行」も進み、コロナ対策の一助になっています。
子どもたちには、ロータリーの支援で図書室が建設されました。